

消防だより

今年の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 9件
救急 : 1132件
救助 : 10件
(令和元年(2019年)10月31日現在)

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

暖房器具からの火災に注意

本格的に暖房器具を使用する時季となり、ストーブなどが原因となる火災の発生率が高くなります。

暖房器具からの火災の多くは、使用者の「誤使用・不注意」が原因です。

火災を防ぐためには

- ・ストーブの上に衣類などを干さない。
- ・カーテンや布団など、燃えやすい物のそばに置かない。



- ・石油ストーブにガソリンを間違っ

- て給油しない。
- ・燃料補給するときは、必ず火を消し、給油後は燃料タンクのふたはしっかり閉めておく。

- ・石油ストーブの近くでスプレー缶の使用やガス抜きをしない。
- ・外出する時や寝る前には、必ず火を消す。

窒息事故に注意しましょう!

食べ物や異物を喉に詰まらせる窒息事故は、子どもと高齢者が約8割を占めています。

- 食品のリスク要因として、次のようなものが挙げられます。
- ・かみ切りにくい。
 - ・口の中をすべりやすい。
 - ・一口サイズで吸い込んで食べるような食品である。

予防するためには、食べやすい大きさにしてよくかんで食べること、本人だけでなく周囲の人も注意することが大切です。

窒息時の対処法

注意していても事故が起こってしまったときには、反応(意識)がある場合、次のような対処をしましょう。

ぐったりして反応がなくなれば、直ちに心肺蘇生法を実施し、途中で異物が見えた場合は取り除きます。

●腹部突き上げ法

傷病者の背中側から腕を回し抱えるようにし、片手で握り拳を作り、傷病者のへそよりも上でみぞおちの下方に当てます。

その拳を一方の手で握り、素早く手前上方側へ圧迫するように突き上げます。

※妊婦や乳児には実施してはいけません。次の方法「背部叩打法」を行ってください。



●背部叩打法
手のひらの付け根で、肩甲骨の間を強く連続してたたきます。



出初式のご案内

有田川町消防団出初式を次の日程で開催します。

●日時／令和2年(2020年)1月10日(金) 9時

●場所／明恵の里スポーツ公園(雨天時は金屋文化保健センター)



昨年の出初式の様子